

文藝言語研究

言語篇

目次

ピッチ動態からみたオノマトペ語末促音の性格	那須昭夫	1
いわゆる伝聞の「そうだ」について	渡邊淳也	19
アレクサンドリアのクレメンス『ストロマテイス』（『綴織』）第6巻 —全訳—	秋山学	41

2014

65

筑波大学大学院
人文社会科学研究所 文芸・言語専攻

文芸・言語専攻名簿

相澤啓一	青木三郎	青柳悦子	秋山佳奈子
○秋山学	池田潤	池田晋	石田尊
石田プリシラ	石塚修	伊藤真	白山利信
大倉浩	◎大矢俊明	○小川美登里	○長田友紀
加賀信広	加藤行夫	加藤百合	金谷優
稀代麻也子	木田剛	清登典子	金仁和
小松建男	小松優香	コロンズクリスティン	齋藤一
佐野隆弥	澤田浩子	島田雅晴	島田康行
新保邦寛	杉本章吾	杉本武	砂川有里子
田川拓海	竹沢幸一	谷口孝介	近本謙介
坪井美樹	那須昭夫	沼田善子	橋本修
浜名恵美	一二三朋子	廣瀬幸生	ヘーゼルハウスヘラト
増尾弘美	松崎寛	宮本エジソン正	宮本陽一郎
本井牧子	矢澤真人	吉原ゆかり	和氣愛仁
鷺津浩子	渡邊淳也	和田尚明	

(◎印は編集委員長 ○は編集委員)

『文藝言語研究』 投稿規定

1. 投稿資格

『文藝言語研究』に投稿資格を有する者は、以下の通りである。

- (1) 文芸・言語専攻の構成員
- (2) 文芸・言語専攻会議が認めた者（このことについては、紀要委員会が提案し、専攻教員会議で決定する）

2. 論文形式

- ・論文の形式については、文学・言語学関係の分野の国際的あるいは日本国内の全国的な学会誌・専門誌において用いられているものを使用する。
- ・論文の長さについては、特に規定を設けない。ただし、論文が長い場合には、紀要委員会の判断により分割掲載を行うことがある。

3. 投稿方法

- ・投稿を行うには、定められた期限までに紀要委員会に申し込み用紙を提出する。
- ・投稿に際しては、電子媒体ファイルとハードコピー1部に投稿票を添えて紀要委員会に提出する。

4. 採否の決定

- ・投稿原稿の採否は、紀要委員会が指名する査読者による査読を経て、紀要委員会で決定し、投稿者に報告する。
- ・採否決定について不服がある場合、投稿者は紀要委員会に申し立てができる。投稿者からの不服申し立てに対しては、紀要委員会が新たな査読者に査読を依頼してさらに審査を行い、最終決定を行う。

5. その他

詳細は別途定める。

『文藝言語研究』 65巻 査読委員

青 木 三 郎 青 柳 悦 子 秋 山 学
白 山 利 信 佐 野 隆 弥 田 川 拓 海
橋 本 修 吉 原 ゆかり

編集後記

前巻に引き続き、人社棟の耐震工事により研究室が使用できない先生方からもご寄稿いただいた。耐震工事はしばらく続くが、今後も自由な研究発表の場を提供する紀要でありたいと思う。

(大矢俊明)

文藝言語研究 65

文藝篇

目次

北進論と玉井武の北海道英学史	齋藤 一	1
エリザベス朝演劇における社会的弱者としての病人 ——感染症罹患者の階層化と Timon of Athens への一つの視座——	佐野隆弥	17
矢沢あい「ご近所物語」における若年女性のセグメント化と 「少女」の再構築	杉本章吾	37
Об одном образном сравнении в романе Ф. Достоевского <i>Братья Карамазовы</i> («зол..., как зеленый осел»)	Жукова М. Ю.・加藤百合	67
アレクサンドリアのクレメンス『ストロマテイス』（『綴織』）第4巻 —全訳—	秋山学	77

文藝言語研究・言語篇（第65巻）

2014年3月31日発行

発行所 筑波大学大学院

人文社会科学研究所 文芸・言語専攻

茨城県つくば市天王台1丁目1番地

電話 (029) 853-4340 (〒305-8571)

印刷所 佐藤印刷株式会社

STUDIES IN LANGUAGE AND LITERATURE

Language

CONTENTS

Dynamic State of Pitch Pattern and Characteristics of the Word-final Moraic Obstruent in Mimetics	NASU Akio	1
Sur <i>sooda</i> dit d'ouï-dire	WATANABE Jun-ya	19
Clemente Alessandrino, <i>Gli stromati</i> , libro VI (traduzione giapponese)	AKIYAMA Manabu	41

2014

65

Doctoral Program in Literature and Linguistics

University of Tsukuba